

市民と市長の対話集会

第53回

タウンミーティング記録集



平成24年3月17日(土曜日)

会場 サンプルネ

時間 午前10時～正午

東村山市

○開催内容

平成24年3月17日（土）午前10時、サンパルネにおきまして「タウンミーティング」を開催しました。26名の方にご参加いただき、ご意見をうかがいました。

●会場アンケート結果（住所地・年齢・性別について）

アンケート用紙は会場入り口で配付し、うち21枚を回収しました。

・ アンケート回答者の住所地

野口町	6人
その他市内	12人
市外	2人
未記入	1人
合計	21人

・ 年齢

20代以下	0人
30代	2人
40代	2人
50代	5人
60代	4人
70代	5人
80代以上	1人
未記入	2人
合計	21人

・ 性別

男性	9人
女性	11人
未記入	1人
合計	21人

○開催情報

●対象 市民の方（在勤・在学の方含む）

●申込み 申込みは不要です。当日、直接会場にお越しください。

（手話通訳・要約筆記が必要な方は、開催日の1週間前までに

FAXまたは電話またはEメールにてご連絡ください）

連絡先：東村山市役所 市民協働課 電話/(393)5111 fax/(393)6846

Eメール/kyodo@m01.city.higashimurayama.tokyo.jp

開催日	会場	時間
平成24年5月19日（土）	恩多ふれあいセンター	午前10時～正午
平成24年6月16日（土）	青葉地域センター	午前10時～正午

タウンミーティング記録（概要）

会場での発言内容は紙面の都合上、要旨を記録しております。

【市長あいさつ】

皆さん、おはようございます。年度末を迎え何かとお忙しい中、また足元の悪い中、本日は市民の皆さんと市長との対話集会にこのように多くの市民の皆さんにご参加いただきまして、誠にありがとうございます。回を重ねて53回目になりましたこの対話集会、通称タウンミーティングは毎月1回、東村山市内13町をぐるぐると回らせていただいて、その地域で何らかの市民活動をされていていらっしゃる方に司会をお願いしております。本日はこの会場サンパルネの運営委員会を務めていただいております1さんに司会をしていただくということで、よろしくお願ひしたいと思ひます。

実は今、市議会開催中のごさひまして、昨日まで平成24年度予算の審議をいただひておりました。昨日は予算委員会の最終日ということで夜9時近くまでご審議をいただひたところのごさひます。今回いくつか大きな課題がありまして、昨日もいろいろと厳しいご論議をいただひたところのごさひますが、おかげさまで予算の方は原案でご可決いただひたところのごさひます。昨日の予算委員会でご可決いただきました予算内容について、簡単に触りだけご紹介したいと思ひます。厳しい景気動向を受けまして、市民の皆さんからお預かりさせていただひている市税が199億ということで、前年度に比べまして1億8000万円ほど減というような大変厳しい状況になっておひます。一般会計の総額としては479億円ということで、前年度に比べますとマイナス1.1%というような状況のごさひます。今回の予算の特徴としましては、東村山市、大変厳しい財政状況の中で、この間大量の定年退職者を向かえるということで残念ながら退職金が支払えなくなりまして、平成20年度から退職金の支払いの為に退職手当債という借金をして退職金を払わなければならないという状況だったのですが、これを何とか早めにやめたいということで、24年度につきましてはようやく退職手当の為の借金をしないで全体予算を組むことができました。それと歳出の中身につきましては、昨年の東日本大震災をうけまして、小中学校の耐震化の強化であるとか市内公共施設の老朽化への対応、それから原子力発電所の事故に伴う放射性物質対策など、市民生活の安全安心を高める施策につきましては、限られた予算の中で可能な限り重点的に予算配分を行わせていただひたところのごさひます。その他、総合計画に基づきまして、保育園の待機児の問題、市内の商工業の活性化、それから小中学校の空調設備の設置などいくつかの新規事業も予算化させていただひたところのごさひます。後ほどご質問いただければもう少し詳しくご説明させていただきたいと思ひます。

本日は野口町1丁目にありますサンパルネで開催させていただひたということでござひます。地域課題としましては、西口の再開発事業が一定程度は終了したわけですがけれども、まだ周辺道路ができていないとか、野口町については集会所の設置が課題になっているのですがそれが滞っている等、いくつか課題があります。本日は地域の皆さんからいろいろとご意見いただきながら市政を推進してまいりたいと考えておひますので、限られた時間ですがけれども忌憚のないご意見を聞かせていただひけるとありがたいと思ひておひますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

【会場でのご意見】

*以下は発言要旨を記録し、個人名は伏せさせていただきました。

～みんなが快適に暮らせる、活力と魅力にあふれたまち～ について

◆野口町に集会施設を

(野口町 Kさん)

野口町に集会施設が欲しい。先日、自治会フォーラムで被災地の自治会の方の講演で、災害の時には地域の皆さんコミュニティを取るということが一番大切で元気づけられるという話を聞いた。集会施設はこれから大震災が起きた時、地域の中で皆の集まりどころ。そのためにも私たちは集会施設が絶対に欲しい。先日、市民協働課から説明を受けたが、私たちが思っているような集会施設ではなかった。何とか私たちが思っているような集会施設を造って欲しいと思って、今日は要望に来た。野口町で欲しい集会施設は、まずはコミュニティを取ることが大事だが、災害のための施設ということで炊き出しができる場所も含めて欲しい。その他は皆さんが気軽に使えるということで造ってもらえればけっこうだと思う。一番の問題は料理ができる、炊事ができて炊き出しができるような施設も含めてお願いしたい。またいつ頃建ててもらえるのか。野口町には施設がいっぱいあると皆言うが、サンパルネを造る時には野口町の集会施設にするという話で伺ってきたが、とても集会施設としては使えない。それとたいけんの里も歴史館もあるが昼間しか使えないし、社協も夜は一人が9時まで残らないといけないということで、とても集会施設としては使えない。ぜひ欲しいと思っているので、よろしくお願いしたい。

◎ 市長 ◎

本日はKさんを始め『野口町に集会施設をつくる会』の皆さんお揃いでご参加いただきまして、熱い想いでご要望いただいたところでございます。長年に亘って市に要望・要請活動をされておられて、本当にご苦勞様でございます。私としても想いは決して忘れてはおりません。市内に集会施設の計画があつて、なかなか出来ていなかったのが野口町と青葉町ということですが、青葉町については昨年度に建設がされて、いよいよ野口町ということなのですが、以前から申し上げているように市の考え方としては、土地を借りたり買ったりするとそれだけの財政負担が生じてしまいますので、できれば市有地で建設させていただきたいということで、市民協働課の方が提案した内容についてということだと思っています。中身につきましてはまだ確定しているわけではありませぬので、震災を踏まえて災害時に地域の避難場所あるいは炊き出し等の場所になるようにというご要望だと思いますので、それらを踏まえて平成24年度はできればもう一度地域の方と場所の問題、施設の規模・内容についてよく協議させていただいて、できるだけご納得、ご理解いただけるように我々としても取り組んでいきたいと思つています。本来であれば24年度に建設する予定だったわけですがけれども、ちょっとご理解いただけなかったのが今まだ設計と建設のスケジュールはしてありませんが、24年度中に何とか話がうまく合意に至れば25年度以降、設計・施工というようなかたちで考えていきたいなと思つているところでございます。皆様のご要望としては「できるだけ広く」「長寿を共に祝う会もできた方がいい」等いろいろなご意見があるのは承知しているのですが、市の財政がようやく少し上向

きつつあるのですけれども、この先何があるかわからない状態ですし、今市の施設が全て老朽化してこれからそれらの手当てをしていかなければいけないという課題もある中でございますので、皆様のご要望いただいているものに近づける努力はしてまいりますけれども、申し訳ないのですがご要望いただいているような大規模なものをそのまま造れるかというのはかなり難しい部分もあるので、そこはお互いによく話し合いをさせていただいて市民の皆さんと行政側でできるだけ理解を深めさせていただいて進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

今、市の方で考えているのは、市民協働課から話があったあの場所の1点だけか。

(野口町 Kさん)

◎ 市長 ◎

市として今のところ想定しているのは、野口町2・3・4丁目の中で市有地としてあるのは野口町3丁目の谷っ田池児童遊園だけなものですから、そこを想定しています。ただ公園として利用されている部分もありますので、住民の皆さんにご了解いただけないとなると場所をどうしていくのか再度検討しなければならないということになります。ただ先ほど申し上げたように借地に建ててしまますと将来地権者の方の意向によっては撤去しなければいけなくなったり、購入しなければならないということがどうしても生じてきますので、その辺を今後どう考えるか。場所については、野口町1丁目はサンパルネの中にも集会施設がありますことから、できれば2・3・4丁目の方が利用しやすいところを選定していくということが望ましいのだろうと考えているところでございます。ご提示している場所以外は絶対に探さないということではありませんが、何とかそこでご理解いただけると我々としてはありがたいというふうには考えています。そこについてはまだキャッチボールさせていただいていきたいなと思っているところでございます。

◆野口町に集会施設を(その2)

(野口町 Iさん)

提案のあった場所は設計図を見ても将来的に考えても狭い。それから児童公園として使っているところを壊してまで建てるというのは疑問。借地の問題だが、(私たちが希望している場所は)条件としてはほぼ中央だし、地主さんが「貸している」言ってくれているのでタイミングとしても今が一番いいと思うので、その場所で進めて欲しい。確かに相続の問題が出てきた時にどうするかという問題はあがるが、それはその時点で市に買って欲しい。そのつもりで予算も積み立ててもらおう等考慮して欲しい。1丁目はサンパルネが使えると言っても、集会室は3ヶ月前でも取れない状態。それに規則も厳しい。私は仕方ないので廻田公民館を使っているが、ほとんど廻田町の人たちが近いので利用している。募集しても廻田町の人ばかりで、野口町の人たちはほとんど駅の方に向かっていく人が多いし、使えない。ほとんど利用していない。防災の話もあるが頻りに地震が起こっているので、来年度、再来年度なんて言っていないで一時も早く地主さんと交渉してぜひそれを実現して欲しい。市の土地がない、探さないといけないというような状態ではいつになるかわからない。私たちが葬式出すような時期になっては嫌だというのが本音。ぜひ緊急に対処して欲しい。今予算化されている金額を借地を買うという場合も考えて、そのまま積み立てておいて欲しい。そしてすぐに進行して欲しい。

◎ 市長 ◎

先ほどKさんにもお話ししたように、市としての考え方としては現在市が所有している用地に何と

か建てさせていただきたいというふうに考えていますが、なかなか皆様のご理解がいただけない状態で滞ってしまっていますので、我々としても場所の問題等も含めて検討させていただいて、再度皆様と協議させていただきたいと考えております。

その場所に建てるのがダメと言うなら、土地の買い替えというのも考慮して早急に資金をつくって欲しい。東村山市内で（集会施設が）無いのは野口町だけ。一番古い町が一番後になってしまうのを頭にいれておいて。 （野口町 Kさん）

◎ 市長 ◎

よく承らせていただきたいと思います。これまでの構想として市内7箇所にふれあいセンター等の集会施設を設置していくということで進めてきたわけですが、ようやく青葉町は建設が終了していますので、本当に最後になりましたけど野口町については住民の皆さんのご意見を聞きながら進めさせていただきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

◎ 市民協働課より ◎

本年度、地元の方々に対し現在市で所有している公有地を候補地としてご説明させていただきましたが、施設規模等、地域の方々との要望との乖離があることから建設予定地を含め庁内検討をさせていただいているところであり、できるだけ地域要望に沿う形で事業の推進が図れるよう検討してまいりたいと考えております。早急に建設をとの事でございますが、施設の建設には建設用地の決定後、設計施工期間を含め開館まで約2年程度の事業となることから、できるだけ早い時期に建設候補地の決定をしてまいりたいと考えております。

また、地元ご提案の土地を新規に買収するとなると約3億程度の土地取得費がかかることから用地取得費、建設費などの捻出を含め検討してまいりたいと考えております。

◆健康広場のトイレを改修して欲しい

（野口町 Kさん）

市長さんご承知のように健康広場のトイレの問題で聞きたい。我々はゲートボール場のようなすこいトイレにしろとは言っていない。健康広場ができて35年以上経つと思うが、そのまま汲み取り式トイレを未だに使っている。建設現場でも汲み取り式トイレはないと思う。今の健康広場の利用状況は、中国体操を月曜から土曜まで15名から20名で毎日。老人会がランドゴルフを週1回30名から40名程度。ゲートボールが週4日から5日、20名程度で毎日。サッカーが週1回20名程度。1ヶ月に計250から300ぐらいの人が使っているが、トイレが1箇所。1箇所でもいいが、汲み取り式ではなく簡単なものでいいので普通の水洗トイレにして欲しい。子供が落ちたりしたら危ない。蓋も無く、ほとんど落ちるだけの本当の昔のトイレ。蓋をしてくれと言ってももう5年も蓋もしてくれない。いつになったら直してくれるのか。担当課に言っても「我々は予算がないから言えない」という返事しかこない。今日こういう機会なのでそれだけは要望してここで約束して帰りたい。絶対に水洗にしてもらって、電気をつけてもらうということをお願いしたい。

◎ 市長 ◎

健康広場のトイレの件が課題であることは私も充分承知してはしまして、2丁目の自治会長さん始め

多くの方から言われています。実は市役所で水洗化する見積もりも取らせていただきましたが、それほど大きなトイレでないにも関わらず、今の行政的な仕様、要するに身障者の方も使えるような仕様のものに造り替えなければならないのと、ちょっと奥まっている関係で今の位置に設置するとなると、配管工事等全て一式含めて約1000万円お金がかかるということが見積もりで出ていまして、なかなかそこまで踏み切れないというのが実情です。ですのでトイレについては場所の問題を含めて私も早急に整理したいと考えていますので、ここで「いつやります」というお約束はできませんが、早期に水洗化に向けて取り組んでいきたいと考えていますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。汲み取り式で臭気がすごいということで、とりあえず掃除させていただいて様子を見させていただいたのですが、それでも臭気が酷いということなので、前向きに進めさせていただきたいと考えています。何とかもう少し金額を落とせるようにしたいのですが、トイレというのは建設すると我々としてもびっくりするぐらい意外とお金がかかってしまい、なかなかそのお金も用意できないということで、大変ご迷惑をかけて申し訳ございませんけど、できるだけ近い将来しっかり対応したいと思ひます。

近い将来というのはずっと先になるのか。事故があったら市役所の責任。今年度内にはできないか。
(野口町 Kさん)

◎ 市長 ◎

今年度は後半月しかありませんから今年度中というのは無理なので、24年度中に方向性を出したいと思ひています。トイレというのは防災の問題も含めて重要な課題だと思ひていますので、24年度中にトイレを必ず水洗化するということは今ちょっとお約束できませんけれども、方向性だけはしっかり出させていただきますので、ぜひご理解いただきたいと思ひます。

◎ 市民スポーツ課より ◎

平成23年度より、汲み取り清掃とは別に、年4回便槽及び便器の清掃を実施しており、以前と比較しますと大幅に改善されております。

所管といたしましては、費用等の課題もございますことから、水洗式簡易トイレなども視野に入れ方向性を出していきたいと考えております。

◆たいけんの里の駐輪場に屋根をつけて欲しい

(萩山町 Sさん)

たいけんの里に駐輪場があるが屋根がない。ボランティア活動で、自転車で行かざるを得ない場合もある。雨の日に一日中置いておくと、びしょびしょになってブレーキが効かなくなって、怖い思いをしながら帰ったことがある。職員の方には言ったが、自転車置き場に雨があたらないようなことを。お金がないということはあるが、安全を考えたり、非常に申し訳ないがボランティア活動をやる中でその辺が活動しにくい。雨が降ったら歩いて行かなければいけない。皆さん市内のあちこちから来るので、どうしても自転車になってしまう。いかがなものか市長のお考えを。

◎ 市長 ◎

たいけんの里のボランティアをしていただいて、本当にありがたく思っております。駐輪場に屋根をという突然の話だったので、どの程度の金額がかかるのか私も全く情報がないので、あまり金額が

かからないのでしたら通年の中でもできるかもしれませんし、それなりの金額がかかるということになるとそれぞれの年度の当初予算の中で予算取りをしないとできませんので、調べさせていただいて所管とも協議をさせていただきたいなというふうに考えています。

◎ ふるさと歴史館より ◎

八国山たいけんの里のご利用ありがとうございます。

ご要望の駐輪場の屋根の件ですが、設置のための費用としては、最低でも約60万円ほどかかります。ふるさと歴史館では多くの方に快適にたいけんの里を利用して頂くために、予算計上していく所存ですが、早急な設置はむずかしいと考えております。

◆野口町にコミュニティバスを

(野口町 Kさん)

野口町にコミュニティバスがない。以前は東口から弁天橋の方に行っていたが、西口広場が出来てからは大踏切の酒屋さんのところを曲がれないということで、徳蔵寺の方に真っ直ぐ行くコースに変わった。近所のご主人が入院して、奥さんが毎日病院に行くのに東口からのバスを利用していたが、コースが変わったため利用できなくなって不便だということだった。お見舞いに行かなければいけないのに脚が悪くてタクシーを使っている。なぜ弁天橋の方に来なくなったのか。

◎ 市長 ◎

諏訪町循環バスについては、西口広場が出来る前までは東口から出ておりまして、それでコースが弁天公園の方を通過して病院の方を回っていたということなのですが、西口広場が出来て西口から出発するようになって、ご指摘のように酒屋さんのところをバスが曲がるのが警視庁で許可されなかったため、やむを得ず真っ直ぐ徳蔵寺の方から回って病院の方に行くというコース設定にさせていただいたところでございます。確かに弁天公園側に住んでいた方々にとってはコースが変わってしまったことによってご不便をおかけしておりまして、大変申し訳なく思っています。公共バスの運行コースについては最終的には警察の許可が必要になりますので、そこが駄目だったということですから、今後、道路を拡幅する等の別なことを考えていかないと元のコースに戻すことはできないということで、大変申し訳ございませんが、すぐに対応できる状態にはないということなのです。

もう野口町・多摩湖町・廻田町の方のバスは通らないのか。(野口町 Kさん)

◎ 市長 ◎

コミュニティバスについては各町から強いご要望をいただいております。現在大まかにいうと市内で3路線走らせていただいております。今後どこにどうかたちで走らせて行くかということについては、大変厳しい財政状況なものですから、これまでの間、市民の皆さんにもご参加いただいて、いろいろとご議論いただいてまいりました。現在も東村山市地域公共交通会議という公募市民の方・バス事業者・警察それから陸運局の方々が入って、まずどういう基準でコミュニティバスを走らせるのがいいのかという基準づくりを進めさせていただいております。それに基づいて今の路線の再構築・見直しを含めて、新たな路線の検討をこれから進めていきたいと考えているところでございます。

私たちは歩いてかまわないが、お年寄りが不便。

(野口町 Kさん)

◎ 市長 ◎

確かに高齢化が進んでいまして、医療機関に通われる場合にどうしてもバスがないと不便だという声はいたるところからいただいておりますが、財政的な問題が一つあるのと市内どこも道路が狭いものですから、新たな路線をつくるにしても現状のコミュニティバスの大きさでは警察との協議の中ではかなり制約があって、細かく回るということができないような実情があります。今後は乗り合いタクシー方式等の新たな方式も検討しながら、市民の皆さんの日常の足の確保について何とか少しでも拡大できるように努力していきたいと思っています。

◎ 交通課より ◎

東村山駅西口駅前広場の供用開始までの間、暫定的に運行していた諏訪町循環路線については、当初計画に基づいた東村山駅西口発着ルートにする際、運行ルートの距離や所要時間などの運行環境、既存道路における交通量や道路幅員、交差点形状などの道路環境に関する交通管理者（警視庁）からの指導等を総合的に勘案し、現在の運行経路を設定したものです。

◆東村山駅西口広場の駐車について

(野口町 Kさん)

西口広場にタクシーがいっぱい停車していて、送迎に入るとタクシー運転手にものすごく怒られる。ちょっと帰りの打ち合わせをしようかなと思って車を停めるとすごく怒られる。西口が出来て綺麗になって嬉しいが、もうちょっと車の使い勝手が良くなれないか。これは皆さん思っていると思う。

◎ 市長 ◎

西口のロータリーはタクシー専用のロータリーというわけではありません。便宜上ですが身障者の方用の乗降スペースがありまして、私が見ている範囲ですと一般の方も駅前まで来られて同乗されている方がそこで乗り降りされるというようなかたちで使っていただいていると思います。タクシーの方がなんで怒るのかちょっとよくわかりませんが、ちょっと事情を確認して支障のないようにしていきたいと思っています。

そんなことはないと思う。私はほとんど毎日主人に駅まで車で送ってもらっているが、一度もそういう経験はない。

(会場より)

◎ 市長 ◎

運転手さんも女性だと文句を言うんですかね。わかりました。とにかく確認したいと思っています。

◎ 道路管理課より ◎

道路上での交通ルールに関しては、沿道の土地利用状況や道路整備の環境と合わせて、道路交通法に基づく交通規制等によって良好な交通環境が保たれるものと認識しています。

特に駅利用者や公共交通が乗り入れる駅前広場については、広場の規模や車両等の乗り入れ状況などを鑑み、一般車両の乗降スペースは一般的に設置されていませんが、交通規制（駐車禁止等）に従い、ご利用していただきますようお願いいたします。

◆東村山駅のエスカレーターについて

(秋津町 Sさん)

先日、サンパルネに来る時に、エスカレーターで怪我をした。あのエスカレーターはすごく危険。エスカレーターのベルトのすぐ脇に細いステンレスの柵があり、背が高いからちょっともたれたら体が傾いたので、力を入れたら足だけどんどん進んでひっくり返ってしまった。一緒に上がるベルトでなく、近くの柵につかまってしまった。非常に危険なので改善を。

◎ 市長 ◎

エスカレーターの関係についてですが、私はあそこ（駅前広場のエスカレーター）で事故があったという報告は受けていないので、構造的に問題があるのかどうか確認を取らせていただきたいと思います。通常のエスカレーターの設計でつくられておりまして、どこにでもあるエスカレーターの形状になっていますから特殊なかたちではないので、あそこだけ危険な状態になっているとは考えにくいのですが、そこはもう一度確認させていただきたいと思います。

◎ 市民協働課より ◎

当該エスカレーターは西武鉄道のエスカレーター（東口、西口）であり、西武鉄道にこのようなご意見があったことを申し伝えました。

◆介護保険制度について

(栄町 Nさん)

介護保険制度の原点は在宅介護が主旨だったが、だんだん飛躍して増えていった。今は病院でも介護をするが、いじめや虐待等の悪質業者が増えてきている。介護施設を調査しているか。それと介護従事者の給料が上がってきていて、これからも上がっていくと思う。なぜかという業者がどんどん増えている。業者選定をきちんとしていかないと、どんどん上がっていく。また介護を受けている方はいいが、在宅介護というのは介護保険料を納めていても生命保険のように戻ってこない。もし掛けっ放しで死亡した場合、10万円の死亡給付等があればいいが一銭も出ない。儲けるために商売をやっている事業者には介護保険料を払うは必要ない。そういう選定をして介護保険料を払っていれば値上げはしなくて済むと思う。このままでは保険料が上がっていくのは目に見えている。きちんと調査もやっていないようなので、施設を回ってきちんと確認して、設け主義だったら我々のお金なので払わなくていい。介護は儲けてはいけない。

◎ 市長 ◎

介護保険の問題についてご指摘をいただきました。介護保険制度というのは基本的に公的負担が半分それから介護保険料で半分というのが大雑把な考え方です。公費のうち国が半分、残りの半分を都道府県と市町村が折半するというような大きな枠組みで成り立っています。事業者の中には確かにご指摘のような悪質・悪徳な事業者がいることも事実です。それらをきちっと調査して摘発する、適正化を図っていくということは必要なことなのですが、高齢化に伴って東村山市でも認定を受けられる、サービスを受けられる方が急増しているのが実態です。先ほど申し上げたように介護保険というのは公費半分、あと保険料収入で半分賄っていくという仕組みで成り立っているものですから、サービス

を受ける方が増えるとどうしてもそれに伴って介護保険料が引き上がってしまうというのが実情であります。東村山市はご案内のとおり高齢化率が東京都内で4番目に高い自治体でございます。それと介護の認定を受けていらっしゃる方が率としても非常に多い市でございます。それに伴って他市に比べると介護保険料が高くなってしまっているという実情があって大変申し訳なく思っていますが、そういう全体の仕組みの中でそうなっているということでぜひご理解いただければと思っております。きちんとした介護サービスを提供しないで儲け主義でやっているような悪質な業者については、我々は事業者の管理監督についての権限は一部有している部分と、後はほとんどの権限は東京都が有しておりますので、事業者の不正等については情報をいただければ東京都と協力して調査を強化していきたいと考えているところでございますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

あと最近の傾向としては、市内にケアつきの高齢者住宅の建設が非常に増えています。建設されてサービスを受けられる住宅が増えるということはある意味いいことなのですが、こういった事が介護保険料を押し上げる要素になっているのも事実でありますので、サービスが充実するとどうしてもそれが保険料に跳ね返ってしまうという介護保険制度の構造的な仕組みがあるということが要因なので、我々の力だけではいかんともし難いのです。今国が年金や医療保険と併せて社会保障と税の一体改革ということをおっしゃっておりますので、そういう中で国民の皆さんの負担する部分と、国や我々地方公共団体が負担する部分がこれからどうなっていくのか、そこは注視をしていきたいと考えております。

介護施設と談合して「これは医療でやろう、これは介護でやろう」というやり方をしている病院もあるらしいので、そういったことも調査してもらわないとどんどん保険料が上がっていく。そうでなかったら何も介護を受けずに死亡した方に保険と同じように10万円、20万円でも支払えばまだ納得できる。今、社会保障と税の一体改革と言っているが、使い込んだ2兆3000億円の厚生年金を埋めるために消費税を上げると言っている。共済年金は全然使っていないので、厚生年金と共済年金を一元化すれば消費税を上げずに済む。介護保険についてよく調べて欲しい。(栄町 Nさん)

◎ 高齢介護課より ◎

施設等の指導につきましては、東京都の指導検査に同行し、都と協調して実施しております。その中でも施設での虐待等については、特に重要視し指導しております。また、事業者の指導につきましては、市独自で指導検査を実施し、適正な運営に努めております。

介護保険制度は、社会全体で高齢者の介護を支える制度で、国の制度であります。介護予防にも力を入れる方向にあり、今後国の動向に注視してまいりたいと考えております。

◆市職員とのトラブルについて

(野口町 Iさん)

約6年前、市の職員から暴行を受け、それ以降5年ほど裁判をしていた。昨年2月に市長に直接話に行ったが、秘書課に門前払いをくらった。ある議員に話したら問題あるということで、昨年3月に市長と話すことになった。その際いくつか質問をして、その回答を書面で出すという話だったが、未だに出てこない。私の要望は6点ほどの質問に対し、その場での事項を記載して返してということであったが、未だに出てこない。なぜか。

◎ 市長 ◎

以前にもご回答しておりますので、もう既に申し上げているとおりでございます。

(当該職員は)今現在も働いている。

(野口町 Iさん)

◎ 市長 ◎

Iさんと当市の職員との間にトラブルがあって、そのことについては当事者同士のお話なので市に持ち込まれても回答出来ませんということは既に何度も申し上げているとおりでございます。

裁判所から100万円の賠償金を払いなさいという命令が出たが、当事者は払わなかった。質問の1つに弁護士費用がかかるので市長にどうかしてもらえないかと聞いたが、回答がない。弁護士費用を払って財産の差押えをかけた結果、何とか取ることが出来たが、市長は何も動かなかった。

(野口町 Iさん)

◎ 市長 ◎

以前からずっと申し上げているように、この問題はIさんと当該職員の個人的な問題であって、市役所が介入できる問題ではないので、あくまでもこれは民間の個人同士のお話として解決をしていただきたい。私が市長になる以前の問題ですけれども、市の方は当該職員に対して既に処分をされておりますので、これ以上当該職員に対して対応は出来ませんということは何度もお話をさせていただいたとおりでございます。

懲戒処分を受けた職員には基本的に退職金を出してはいけないという既定があると思うが、当人はもらったようだ。どういった内容で出されているのか。出しちゃいけないものに市民の財産が出されているのはなぜか。

(野口町 Iさん)

◎ 市長 ◎

市の職員の処分と退職金の関係については公の問題ですので、お答えさせていただきます。処分はその事案によって量刑が定められています。一番軽いものと口頭で注意をする、後は減給だとか停職だとか一番重いのが懲戒免職処分と言われるものであります。これは役所の職員を辞めさせるということで、これについては退職金は支給いたしておりませんが、処分はその都度行っておりまして、Iさんとトラブルを起こした職員については先ほど申し上げたように一定の処分を既に行っています。ただ懲戒免職に当たるほどの範囲ではなかったというふうに当時判断をされたと思いますので、退職時には当然退職金は支給いたしてあります。

それは書面で提示してもらえるか。

(野口町 Iさん)

◎ 市長 ◎

タウンミーティングでの対話につきましては記録集として文書化されます。それ以外は文書にするつもりはありません。

◎ 秘書課より ◎

本件につきましては、平成23年3月4日に市長面談を行い、そのときのご質問につきましては、平成23年4月22日及び同年5月10日にメールにてご回答させていただいております。

◆秋津町の住環境について

(秋津町 Uさん)

東村山市に24年前の9月に引っ越してきた。最初に遠くに煙突が見えたので、あのくらい離れていれば大丈夫だろうなと思って住居をかまえたが、車がすぎて通行者が家の庭に逃げ込んできて、びっくりした。そのほとんどの理由が一般車ではなく普通の車より大きい秋水園の車で、家の前が第六中学校の通学路にもなっていて特に雨の日は子ども達が傘を差しているとみんな逃げ込んでくる。それが私が東村山市にきてびっくりしたこと。それからお金がないということもよくわかった。今トイレの蓋とか集会所が足りない等いろいろな話が出たが、その通りだと思う。秋津町は秋水園という迷惑施設をかかえているので、わりと早くふれあいセンターができて半径800m以内の住民はタダで使えるが、それが迷惑施設の還元かと言われるとなんともいえないなという想いがある。不燃ごみは茨城県とか山梨県の方まで運ばれていくが、直接運ばれるのではなく一回秋水園に運ばれてくる。そこから出て行く10t車が巨大な車で、小学生の子ども達がちょうど秋水園からの道を横切る時間に入ってくる。9月に市長に会う機会があったので何とか時間をずらしてくれとお願いした。私たちのまちはもちろんトイレのことも大事、集会所のことも大事だが、それ以前に命を脅かされるような中で住んでいるまち。福島事故があって、以前は剪定枝と生ごみを一緒にして資源化しようなんてやっていたが、それもやめて今は皆さんが切った剪定枝が全部秋水園に燃えるごみと一緒に入ってくるので、秋津町では放射能が高い値で出た。

もう一つはリサイクルセンターを最初25億円で造るという話があって、25億円から17億円になって今12億円になった。集会所とかトイレの問題は今日初めて知ったが、25億円から17億円になったのなら簡単にできるのでは。逆に言うと非常に大雑把なところで市はお金がないと言いながら予算を立ててしまう。市長は秋津町に住んでもいいと思っているか聞きたい。

◎ 市長 ◎

ご質問は秋津町に住みたいかという意味で受け取ってよろしいでしょうか。秋津町には秋水園というごみ処理施設があって、今Uさんからお話があったように収集車両が1日に250台ぐらい出入りするということで、周辺にお住まいの方に大変ご迷惑をおかけしているところでございます。そういう意味で我々としても周辺の道路整備等についても進めていきたいと考えていまして、特に通学路になっている所で志木街道から6中に向かう武蔵野線までのところについて片側歩道しかないものですから、中学生の子ども達が通学時に武蔵野線の橋のところを渡るのに、栗林の中を通らないと危険な状態になっていまして、志木街道から秋水園の方に入っていく通りについて地権者の方のご了解をいただいています。Uさんのお宅の前のところも拡幅のための測量についてお願いをさせていただきましたが、なかなかご理解いただけないということでした。そうは言っても中学生が毎日通学で使われるものですから、その手前側のところから志木街道を渡って武蔵野線のところについては何とか地権者の方のご了解をいただけたものですから、来年度から少しずつですけども拡幅整備をさせていただこうという事を今進めさせていただいているところでございます。協力するとなると自分の家の敷地が狭くなってしまうので、道路を拡幅して歩道設置するというのは非常に難しいところがありますが、今後も粘り強くお願いさせていただきたいなというふうに思っております。

それと秋津町は秋津駅、新秋津駅と市内で唯一JRの駅と西武線の駅がある地域でございます、市内では東村山駅周辺と久米川駅周辺そして秋津駅・新秋津駅周辺を都市核という中心核の1つとして位置づけております。しかも秋津駅・新秋津駅というのは1日の乗降客数が市内で最も多く、両方合わせると1日に7万人を超える方が二つの駅をご利用されています。市民よりも埼玉県の方が多いのですが、そういうことで非常に潜在的なポテンシャルが高いところでもあります。しかしながら秋津駅と新秋津駅の間というのは狭い路地で繋がってしまっていて、通勤・通学の時間帯は傘も差して歩けないような状況が続いています。ここは将来的には一定の広場をつくって安全に駅を繋げられるようにしていく必要があるのかなというふうに考えています。昨日の新聞報道によりますとJRが新秋津駅の駅舎を建て替えられるということで、市の方には昨年から相談にお見えになっておられたのですが、今の古くなった駅舎を建て替えられて、地上3階建てぐらいの建物にして一部商業施設を入れられるというふうに伺っています。そういう意味では秋津町というのは東村山市内でも非常に発展する可能性や余地が高いところだと考えていますので、私も機会があれば住んでみたいなというふうには思っていますが、私が今住んでいるところは非常に駅に近くて便利がいいというところもあって、ずっと子供の頃から住んでいるものですからなかなか離れがたいところもあって、個人的な感想としてはそのように思っています。

◎ 道路管理課より ◎

平成24年度に、予算措置をいただき、秋津町2丁目15番地東側の市道第564号線1の歩道を含む道路整備を予定しております。今後の当該路線の北部につきましては、通学路の指定もありますので、順次道路整備を推進していきたいと考えます。

◆リサイクルセンターについて

(秋津町 Sさん)

一昨日の予算委員会に出席した。東村山市民15万3000人のごみが全部秋水園に来る。これを何とか分散化したいが、一昨日の予算委員会でペットボトルを外に出すのに年間1200台ぐらい、缶を外に出すのに年間5500台ということだった。何故そんな大事なことを争点に出さないのか。それが無くなれば子ども達が安全に通れるので、缶も業者に委託してもらいたい。ペットボトルだけでなく缶も一緒にすれば4300台に減るので、私としてはぜひ一緒にやって欲しい。

◎ 市長 ◎

リサイクルセンターの建設の関係については、この間議会でも随分ご論議いただいてまいりました。現在の市の方針としては秋水園の中にリサイクルセンターを建設させていただいて、ビンと缶の処理と不燃ごみの詰め替え保管をさせていただきたいと考えております。ペットボトルについては分散化ということで市内の恩多町にあります民間事業者をお願いさせていただくことを考えています。なぜ缶を出さないかということについて申し上げますと、缶とペットボトルについて両方出すと、我々の見積もりでは市が直営でやるよりも年間コストが2000万円ほど高くなってしまうということが非常に大きな課題になっています。確かに周辺の住民の皆さんのご負担を減らすということで分散化を進めていきたいということについては我々も考えていますけれども、大変厳しい経済状況・財政状況の中でございますので、どうしても経済性もそれなりに勘案しながら進めていきたいと考えていま

す。先ほどSさんが「全部のごみ」とおっしゃいましたけれども、現在は全てではありません。容器包装リサイクルのごみについては恩多町の民間事業者の方に行っているということでもあります。お気持ちはよくわかりますので、我々としてもできるだけ収集量それから収集台数も極力減らす努力を今後も継続していきたいというふうに考えていますが、缶については大変恐縮ですけれどもお金の問題から現在では考えていないというような状況でございます。

お金の問題も、リサイクルセンターの償却を片一方は5年で見積もり出して、もう一方は38年で見積もりを出しているが。
(秋津町 Sさん)

◎ 市長 ◎

議会でも随分ご論議いただきましたけれども、民間事業者が出す見積もりが「何年で償却する」というのはその民間事業者の考え方です。では5年後になれば値段が下がるのかということ言えば、全くその保障はないわけで、我々が施設を建てた場合には補助金の関係で最低38年は使わなければいけないのです。そうするとイニシャルコストを38年で割った金額に人件費等のランニングコストを足した金額が、民間事業者が年間これで請け負いますよと言っている金額よりも市の直営でやった方が数字的に安いということが明確に出ておりますので、我々としては大変厳しい経済状況ですので、そうさせていただきたいと考えております。

役所が民間事業者に高く出すようにさせている。何回予算委員会を傍聴しても市長や部長の返答がころころ変わる。
(秋津町 Sさん)

◎ 市長 ◎

誤解のないよう申し上げますが、そもそもリサイクルセンターを建設するというのは、今秋水園の中のリサイクル作業所でピン缶の処理をさせていただいています。ただ開放型の施設、要するに扉で全部閉まらない施設になっていますから音が出まして、その音が東京都の環境確保条例（都民の健康と安全を確保する環境に関する条例）の基準値を超えています。要するに市のリサイクル作業所はいわば法律違反・条例違反状態ですから、これを何とか解消しなければいけないというのがそもそものリサイクルセンター建設の発端なのです。そうしますと分散化して市内中に騒音基準値を超える施設をあちこちに造るわけにはいきませんので、民間事業者に委託した場合でもきちんと騒音基準値を守る施設を造っていただくざるを得ません。そのことをこの金額で本当に出来るのですかという確認を取らせていただいているということでありまして、不当に民間事業者に金額を吊り上げさせるようなことを市がする必要は全くありませんので、そのことはぜひご理解いただきたいと思います。

◎ 資源循環部 施設課より ◎

外部委託については、ストックヤードの確保・残渣等の搬出入対策・敷地内の車両干渉対策・騒音対策等の確認する要素があります。

◆保育園事業について

(久米川町 N夫妻)

認可保育園の入園と入園できなかった場合の体制が大きく違う。うちは今年の4月入園の0歳児で申し込んだが落ちてしまい、無認可に入れることになっている。選考があるのが2月中旬で、認可の方はその時点で市の方から認可保育園に行き、保育園主導で面談をやって健康診断をやってとエスカレーター式にいくが、無認可は「落ちました。後は自分達でやって下さい」と言われ、自分達で無認可を探して直接交渉をして、いろいろ条件の話をして、健康診断もわざわざ小児科に行ってやらないといけないというふうに非常に労力がかかる。また無認可も激戦区。無認可に入ることも非常に大変。向こうも営業があるので「認可の二次募集は申し込まないで、うち単願で申し込んで。」というような理不尽なことを言う。実際に無認可に申し込むと当然認可に比べて施設は古いもしくは小さい、保育士の定着率も高くない、最大は保育料の高さ。うちが入れた無認可は認可と比べると月2万円、年額24万円も高くなってしまふ。市の方で月3000円の助成が出るが、年間3万6000円に対して24万円というのは、私たち子育て世代にとっては大きな金額。しかも高いお金を払うのに行けるところは認可に比べてサービスや施設等の環境も低くなってしまふ。うちの方の住民税の問題なのか、何か条件がちょっと違うだけでこんなにギャップが出てくる。どうしてこんなに偏りがあるのか不公平感を感じている。個人的なことだが4人の世帯と仲良くしていたが、うちだけ落ちてしまったということもあって、非常に不公平感を感じざるを得ない。そこをもう少し何とかして欲しい。

私も夫として子育てに参加している中で、妻が保育園の入園に関して苦勞している姿を見て非常にもどかしさを感じている。市長が冒頭に保育園事業に対する予算の話もしていたが、私は30代で会社の同僚でも同じような状況の人がたくさんいるが、他市に比べて圧倒的に東村山市の子育てに関する手当の薄さというものに非常に憤りを感じている。私たちはもともと小平市や立川市の出身だが、東村山市の環境の良さ、子育てのしやすさ、子供が育っていく環境としていい市だと思い引っ越してきた。今のまま東村山に住み続けて本当に子どもを大切に育てていけるのか、そう考えると非常に苦しい状態。将来この状態が続くようであれば、我々としてはより子育てをしやすい市に移転しないと仕事と子育てを両立することが難しいと感じている。市長がその辺りをどうお考えか。

◎ 市長 ◎

保育園にお子さんを入園させたくても入園させられないいわゆる待機児童は市政にとっては大きな課題であると受け止めています。特にここ数年リーマンショック以降また震災等踏まえてなのでしようが、非常に景気動向が厳しい中で今まで専業主婦だった方も何とか仕事を見つけてお仕事をされるというようなケースが増えてきていまして、申し込みの数が増え上りでそれに当市の場合は対応が追いついていないというのが現状です。今年の待機児童については、一次募集の締切後、無認可等に入られたかどうかの確認はまだ取れていないのですが、公立・私立のいわゆる認可保育園に入園できなかった方が今年は400名を超えているというかなり異常な状態になっていて、多くの若いお父さんお母さん方にご迷惑をかけている状況で、私も本当に心苦しく思っています。ここ数年、保育園の整備については市の方もかなり積極的に増設等も進めてきたのですけれども、造っても造っても追い

つかないというのが実情であります。ちょっと時期が間に合わなかったのですが、24年度、青葉町に新規で1園開設予定です。それと青葉町の私立の認可保育園が多磨全生園の中に移転されて、定員数が20名程度増える予定です。それから野口町にあります第8保育園が完全民営化になって、分園を建設するということで20名程度の定員増ということです。平成25年度以降には廻田町の幼稚園をやっておられるところが100名定員規模ぐらいの保育機能を持った認定こども園を建設していただけるということで、今協議を進めている状況でございます。それでも恐らくまだまだ足りない状況なので、我々としてもこの問題を深刻に受け止めて、何とか早期に待機児0になるよう努力していきたいと思っています。その間のつなぎと言っては大変恐縮ですけど、認証や定期利用のいわゆる無認可の保育室についてもようやく補助制度を設けまして、それまではお二人目のお子さんにはお出ししていたのですが、平成23年度から認可に入れなかったお子さんに対しても何とか少しでも支援をしようということでさせていただいているところでございます。今後もそれらについても認認可保育園だけでは全て補完できませんので、無認可施設にお子さんをやむを得ずお預けになられている方々あるいは全く別な考え方なのかもしれませんが幼稚園にお預けになっている方々、いろいろな子育てのサービスがありますので、市としても出来るだけ均衡を図っていきたくて考えているところでございます。大変申し訳なく思っていますが、少しずつですけども今そういうかたちで取り組んでいるということをご理解いただいて、経済的な支援は予算の問題があってなかなかすぐには出来ませんが、具体的に例えば情報提供等いろいろな面で無認可にお子さんをお預けになられている方々に対しても市としての支援が出来るように体制を整えていきたいと考えております。

お金の問題があるということは我々も重々承知している。無認可に入れざるを得ない状況に対する行政サービス、入れやすくしてもらえるような市の窓口対応を。落ちて我々が窓口で相談に行った時に「認可外は我々の範疇でないので皆さん勝手にやって」とはっきり言えばそういう言い方をされたのは事実。外れた人に対する入りやすさのサービスの向上をお願いしたい。
(久米川町 Nさん)

◎ 市長 ◎

そこは十分心がけていきたいと思えます。ありがとうございます。

◎ 子ども育成課より ◎

当市では、市内全域において保育園の施設整備を進めており、平成24年度には4施設の整備が進められ、完了し次第、順次定員が増となる予定です。

また認可外保育施設についても、都制度である認証保育所（A型）への移行支援を行っており、量・質ともにさらに高められるよう努力を続けております。

窓口対応につきましては、制度的な限界もありますが、情報提供や状況に応じた相談アドバイスなど、懇切丁寧な対応に努めてまいります。

◆救急医療の受け入れについて

(美住町 Sさん)

救急病院の案内が市報に毎掲載しているが、知人が時間外に救急病院に行ったら全然受け入れてくれなくて「自分で調べて探しなさい」ということを言われた。息子さんがたまたま居たからネットで調べてもらって東大和の病院に行ったがそこでも「うちは関係ない」と言われた。もう一人の方は腰が痛くて立てなくなって、夜間にタクシーで病院に行ったら救急の先生が何の対応もできないので「痛み止めが欲しい」と言ったが全然答えてくれなかった。救急病院が「自分で調べて勝手に行け」というようなことでは困る。市で何か出来たらお願いしたい。

◎ 市長 ◎

医療については市が直接関わっている病院としては昭和病院です。あれは当市だけでなく多摩地区の8市で共同運営している病院です。昭和病院については地域医療を担う病院なので、基本的には救急含めて受け入れをするということになっているのですが、たまたま宿直医が担当外であったりすると「今来られても適切な治療が出来ないので」ということでどうしてもお断りをせざるを得ないケースというのはあるそうです。ただ昭和病院については極力そういうことのないようにして欲しいというのを各市の市長から申し入れをしているところでもあります。その他の市内の病院についても、救急の指定を受けている病院については、改めて市からこういう声があったということでお話をさせていただきたいなと考えています。

◎ 健康課より ◎

日曜日・祝日（振替休日）・年末年始期間に、緑風荘病院にて内科・小児科の休日診療を行っております。また、日曜日・祝日（振替休日）・年末年始期間の午後5時から10時までの時間帯に内科・小児科の初期診療を行う東村山市休日準夜応急診療所を運営しています。

これらは、いずれも救急車を利用するまでもない軽度の限られた症状に対応するものであり、重病の場合は救急病院の利用をお願いしているところですので、ご理解いただきたくお願い致します。

◆障がい児について

(萩山町 Tさん)

市内の小学校の中で障がい児がどのくらい居て、市立小学校にどのくらい受け入れ体制があるか。

◎ 市長 ◎

私は数としては今把握いたしておりませんが、いわゆる特別支援教育というかたちで、障がいのあるお子さんが普通学級に通われているケースが確か5、6件だったと思います。今職員が調べてきてくれましたが、肢体不自由児で普通学級に通われていて、支援員さんの補助金の対象となっているお子さんが5名だそうでございます。

市内の障がい児が全部入ったとしたらどうするか。

(萩山町 Tさん)

◎ 市長 ◎

現状、小学校に入学する際に、障がいがあると思われる方については基本的には教育相談を受けて

いただいております、普通学級それから特別支援学級、あるいは特別支援学校がいいのか、その方の障がいの状況や程度に応じて今それぞれの学校に入学あるいは通級していただくような状況になっています。現実問題として程度がかなり重度のお子さん含めて全ての障がいのある方が普通学級に入られるとなると、現状の施設あるいは教員の対応では現実的には困難と言わざるを得ないというふうに思っております。

発達障がいは。

(萩山町 Tさん)

◎ 市長 ◎

発達障がいについて言いますと、どこからどこまでを発達障がいというかというのが難しいのですが、けれども、文部科学省のお話ですとお子さんの6%ぐらいが発達に何らかの障がいがあるというふうにお聞きいたしておりますので、そうしますと例えば1クラス30人だとすると1.8人ですので一人ないし二人ぐらいのお子さんがいわゆる発達障がいがある可能性があるかとこのように考えております。

◎ 学務課より ◎

知的障害、発達障害、難聴、言語障害、四肢の障害など障がいの内容や程度によりますが、障がいのある児童・生徒については、就学相談を経て保護者の方と相談をし、市内小・中学校で受け入れをしております。また、学校内で生活的支援の必要な児童・生徒の保護者の方へ支給している補助金の対象者は、現在5名となっております。

【市長まとめ】

本日は長時間に亘りまして市民の皆さんとの対話集会にご参加いただきまして、ありがとうございました。前半、地元の野口町の集会所の件等でいろいろご意見いただいたのが、途中から秋津町の話題になってしまって、ちょっと生煮えのような感じで全体が進行してしまったかなと思っております。いろいろ課題をいただきまして、野口町の方にとっては集会施設それから健康広場のトイレの問題というのは以前からご指摘いただいていたんですけど、これは私もしっかり取り組んでいきたいなというふうに思っております。それからバスの問題はどこの町に行っても必ずご要望いただいているテーマなので、お金の問題や道路の問題等の課題はありますけれども、少しでも市民の皆さんの利便に供させていただくように取り組んでいきたいと思っております。それから介護保険の問題、保育園の待機児の問題、また障がいのある方や病院のたらい回しの件等々、数多くのご指摘をいただきました。私も市長に就任させていただいてもう丸5年が経過しようとしております。なかなか市民の皆さんのご要望全てを実現するには至っておりませんが、これからも15万3000市民の安全・安心そして様々な生活の支援になるように頑張りたいと考えておりますので、皆様の引き続きのご理解・ご協力をいただきますようお願い申し上げますとともに、本日司会をお務めいただきましたIさんに感謝申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

市民と市長の対話集会
第53回
タウンミーティング記録集

発行 平成24年5月
東村山市役所市民部市民協働課
東京都東村山市本町1丁目2番地3
Tel. 042 (393) 5111
(内線2563、2564)